



Mount Olive Ministries

マウント・オリーブ・ミニストリーズ

オ'ハナ family

ニューズレターNo. 0073
2012年4月

宣べ伝えるものがないくて
どうして聞くことができるでしょう

Home Tel: (808)988-4585 Office Tel/Fax: (808)373-8008 E-Mail: nakano@momhawaii.org 5622 Haleola Street, Honolulu, Hawaii 96821 U.S.A.

メッセージ

中野雄一郎

「なぜ、あなたは死に急ぐのか？」

「わたしはよみがえりです。命です。」 聖書 ヨハネ11章25節

東日本を襲った地震、津波、今なお不明者を入れて死者数は、30651人、痛ましい限りの現状に、涙なくしては語れません。今年の3月11日午後2時46分被災地に流れる哀悼のサイレンに合わせて、家内と共に、現場で祈りを捧げました。ふと足元を見ますと、誰が捧げたのか、献花が置かれ、お線香が手向けられていました。ああ、ここでも犠牲になられた方が居られたのかと、もう一度祈りを捧げることがしばしばでした。

それとこれと比べることは出来ないとしても、昨年日本における、自殺者は3万人をゆうに越える数になっています。関係者によると、自殺未遂者は、その十倍になるとのこと。どれくらいの方が、日本では自ら命を絶つことを企てるのでしょうか？

その昔、私の住んでいた名古屋で、隣の若い奥さんが、不慮の事故でご主人をなくしました。それはそれは幸せの絶頂のような時でした。その3ヶ月後7歳の女の子と、3歳の男の子を道ずれに入水自殺をしました。その痛ましさ、その悲惨さに、学生であった私は「命とは？生きるという事とは？」と考えることがしばしばあり、ついには生けるキリストにお会いすることで、真の解決を見出しました。一人残されて生きていく辛さも少しは理解できます。また、ご病気で辛い中におられるかたもあるかもしれません。しかし、命は神様のものです。災害で命を失った人の命の分を生きていただきたいのです。あなたには生まれてきた目的があるのです。イエスキリストは死からよみがえり、生きる希望を与えてくださったからです。生きてください。その力は復活のキリストの中にあります。

中野雄一郎



賛美フラチームで被災地訪問



3月11日南三陸志津川町で ハワイとスカイプでつなぐ(中澤先生ご夫妻と栄子さん)

南三陸クリスチャンセンター予定地 (中央が土地提供者の西条さん)



Mount Olive Ministries

マウント・オリーブ・ミニストリーズ

被災地あれから一年 南三陸町訪問

3月11日 東日本大震災から1年がたちました。南三陸を中心に活躍しておられる西仙台聖協団教会牧師、中澤竜生牧師とご家族と共に、一年目の追悼式参加のため南三陸に参りました。一年経っても復興のきざしは見えていません。ガレキの山はうづ高く積まれたまま、押しつぶされた車も山のように積まれたまま、津波で流された町は今でも見渡す限りそのまま痛々しい限りです。ガソリンスタンド一つ、コンビニ一つ、コーヒーショップそして小さな仮のマーケットなど出来たのがわずかの变化です。

地震発生時間の午後2時46分、サイレンの音と共に町中が一斉に黙祷を捧げました。その時、私の胸に激しい痛みが襲い、涙が溢れました。こんなに胸が痛むとは想像もしていませんでした。イエス様も同じように悲しんでおられるからでしょうか。ハワイの方々とスカイプでつなぎ祈りを捧げました。被災地はまだまだこれからです。続けてご支援をお願いいたします。

3月15日から17日まで賛美ファミニストリーの代表チーム7名で南三陸町を訪問しました。

いくつかの仮設住宅にある集会場でコンサートをさせていただきました。涙をこぼして喜んでくださり、「またぜひ来てください」「元気をもらいました」と言っていただきました。一つの場所では何かが吹切れたように、みんなで踊りだし止らなくなる一コマもありました。

賛美フラには不思議な力があります。(めいこ)

賛美フラの働き

2月4日のフラグレイスフェスタ イン 関西は800席のチケット完売で、参加者の多くの方に大変喜ばれました。素人のクリスチャンフラのグループですが、出席者に感動と涙と癒しを与えることができました。お祈りを感謝いたします。フェスタ終了後クリスチャンになったり、洗礼を受けた方もあったと報告をいただきました。ハレルヤ。

今、賛美フラを希望するところがどんどん増えています。このミニストリーを通してさらに救われる方々が起こされますように願っています。(めいこ)

J T J 卒業式 J T J 宣教神学校では3月20日に72名の方が卒業されました。

元オリンピック選手、会社社長、84歳の高齢者、某新興宗教幹部の子息、元不良少年、老いも若きも学びを終えてめでたく卒業されました。Aさんのひとこと「僕は中学も高校も学校へはちゃんと行ったことがないのに、J T J だけは一日も休まず通いました。こんなに感動したのははじめてでした。泣けて泣けて仕方ありませんでした。僕みたいなものでも神様が導いてくださって感謝しています。」

中野雄一郎師は今回の卒業式を折に1990年より21年間務めたJ T J 宣教神学校学長、国際学長を引退しました。今後いくつかの授業は講師として担当し、相談役として働きます。

T P C (東京プレーヤーセンター)開設

中野牧師はT P C 理事長として今後、力を注いでいきます。ITCN(インターナショナル東京クリスチャンネットワーク)の月曜集会と共に、御茶ノ水クリスチャンセンター内の404号室は開所から順調に機能しています。毎日の祈りの時間、毎日の礼拝が開かれています。有意義なセミナーなどもあり、皆様の参加をお待ちしています。

MOM理事会、年度総会が3月26日に開かれました。理事7名スタッフ2名が参加し、昨年度の会計報告、活動報告がなされ、神様と、サポートして下さった方々に感謝いたしました。

16年間このミニストリーが支えられてきましたのは、毎月献金と祈りを捧げてくださるサポーターの方々、私どもをお招きくださる、北米、カナダ、世界各地、日本の教会と、重荷を感じて捧げてくださる方々のご援助があったからと感謝しております。72才と67才の年寄り夫婦が元気で奉仕できますのは祈りに支えられているからです。そして、主の恵みのほかなりません。「なぜ死んだ犬のような」私どもをお使いくださるのかと不思議でなりません。ただ感謝しています。

主が豊かに祝福して下さいますように祈るだけです。(中野雄一郎 めいこ)

4月は日本のほかイタリアに参ります。続けてお祈りをお願いいたします。

私どもの公の予定は、ホームページからカレンダーを開きますと分かります。

毎日の祈りが支えになっています。

「聖書力」好評発売中 電子書籍(いのちのことば社第一号)にもなりました。

HAPPY EASTER

主の復活を心からお祝い申し上げます。

皆様の上に復活の主の祝福が豊かにありますようにお祈りいたします。

Our apology for the late edition and for the lack of English Translations.